

今月は『手紙交換』というあそびです。

私が年長児のころ、当時クラスでは手紙交換が流行していました。部屋には保育者が作ったポストが設置されていて、友達や保育者にあてた手紙を入れます。降園時の帰りの集まりで自分あての手紙をもらっていました。

園でしていた手紙交換を家でもしたい！と、母親と手紙交換をはじめました。何気ない内容の手紙でも、もらうことも書くことも嬉しくて。園や母親と交換していた手紙は今でも保管していて、幼馴染や母親とたまに見返して、懐かしんでいます。

西岡 美琴



…バナナ生長日記…

今年はゴールデンウィークが明けても気温が安定せず、やっと下旬にバナナを外に植えました。地面下 20 cmほどで岩盤に当たるので、盛り土をしました。おおきくなあれ！



また、アサガオの芽がたくさん出ました。玄関横に置いてありますので、ご自由にお持ち帰りください。ぜひ、一緒に育てましょう。



そら組の稲作エピソード

今年もそら組が稲を育てます。5月23日に種もみを蒔きました。一人ひとりでドロドロに水でこねた土に一粒ずつ種を蒔くのは一苦労でした。

蒔いていると、どこからともなくカナヘビが出てきて子どもたちも大慌てでしたが、何とか全部の袋に蒔き終えました。「収穫まで大体 150 日ぐらいかな？」(10月に収穫できるとして 30日×5カ月の計算です。)と気の遠くなる時間を首を長くしながら数える子どもたちです。

6月

- 9(木) 避難訓練
- 16(木) 歯科検診
- 17(金) 誕生会
- 24(金) そらキャンプ説明会(5歳児)

7月

- 4(月) 誕生会
- 7(木)～8(金) そらキャンプ(5歳児)
- 12(火) 親子参観日
- 13(水) 避難訓練
- 15(金) 1号終業式
- 19(火)～8/31(水) 1号夏休み

～お知らせ～

子育て支援担当 濱田純代さんが退職しました。お世話になりました。

いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.63



令和4年6月1日 発行
いちょうの森こども園 園だより
桜が丘東3-3-496
TEL 086 (956) 2022
FAX 086 (956) 2023



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。

<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

相手の立場になること

この春、園で一番大きい『そら組』になった子どもたちと、朝夕の集まりでいろいろな話をします。今日の予定や出欠の確認はもちろんですが、日々の生活の中で「これはどうしたらいいだろうか？」というような問題も投げかけて一緒に考えます。「当番活動で同じグループの人が来てくれなかったらから大変だった」という話をみんなで「どうしたらいいかな？」と考えたこともあります。年長児ぐらいになると集団の中で自分の気持ちをコントロールしながら折り合いをつけて、我慢することもできるようになります。「自分だけがいいのではなくて相手のことも考えないいけないこともあるね」と繰り返し話をしている毎日です。

ある日のおやつタイムをテラスでしていた時のことです。蜂が飛んできました。「怖いね、嫌だね」と通り過ぎるのを静かに待っていると、Aさんが「ぼくも蜂だったらよかった。そうすれば、蜂を怖いと思わんよ」とぼつり。それを聞いていたBさんが「本当だ。そうすれば刺されないかも。蜂もみんなから嫌いって言われてかわいそうだ。ただ飛んできただけなのに」と続けました。その会話を聞いて、子ども達の感じ方にはとさせられ、優しい捉え方に嬉しい気持ちになりました。

その後、集まりの時に「そんな風に相手の立場に立って考えたら、嫌なこともしないですむし、毎日楽しい気持ちで過ごせるよね」と話をしました。(もちろん、危ないので蜂には絶対に近寄ったりはしないことも伝えました。)私も相手の気持ちを考えるということは、相手の立場になってみる事ができるか、ということなのだな、と改めて感じさせられました。とても気持ちが動かされたエピソードです。

クラスに大きな木を紙で作って部屋に飾りました。花は子どもたちが友だちの『いいところ』を見つけたら増やしていきます。『いいところ』はいわゆる『良い子』とは少し違い、誰かのためを思ってやったことや優しいな、と感じるような友だちの姿のことです。友だちの『いいところ』にたくさん気が付けるようになって卒園する頃この木が花でいっぱいになる日を楽しみにしています。

河合 比呂子



クラスのみならず協力して稲作の土を運びました。重かったけれど、みんなでするとあっという間です。今年も稲作がはじまります。



お気に入りの場所



そら組

朝夕の集まりを椅子に座って行っています。椅子があると気が早いですが気分は「小学生」です！背筋がピンと伸び心地よい緊張感です。「なんか、いい感じがするなあ。」とまた一つ大きくなった気分がする魔法の椅子です。この調子でいろいろなことに『カッコいいそら組』として取り組みたいな、と思います。



にじ組

ホールでリズムあそびを楽しんでいます。身体を動かすことが大好きなにじ組のこどもたち。ピアノの音をよく聞いて身体を動かしています。にじ組が楽しんでいると、つき組と一緒にリズムに参加したり、はな組が散歩に出かけている所にあたりして、ホールにいるとクラスの友だち以外にもたくさんの人と関わるができる素敵なお場所です。



ほし組

部屋の一角になんでもできるミニコーナー（囲い）を設置しています。例えば、そこでカルタ大会をしたり、積み木を積んでまた続きをしたい時は、壊されないよう置いておけるようにしたり。ある時は、ちょっとクールダウンして一人になりたい時などに使えるようにしています。囲いは、いつでも使えるように使いたい時に出したり、片付けたりできます。コーナーはじっくりあそびを楽しみつつ、ゆっくりできるスペースとしてもお気に入りになっています。



ゆき組

ゆき組保育室からウッドデッキを通過して戸外に出ると裏庭があり、花壇にたくさんの花が咲いているのを見たり、ダンゴムシやカエルなどの生き物を観察したりできる特別な場所です。

さらに、今年度は裏庭にサツマイモを植えました。秋の収穫に向けて、楽しみに整備をしようと思います。



つき組

戸外のちょこっと隠れることのできる三角の斜面台がつき組の子のお気に入りの場所です。一休みできることはもちろん、時にはお店屋さんやおはなし会なども開かれています。「いらっしゃいませ」「なにかいりますか？」など少し覗くだけでもいろいろ掛け合いが見られます。お迎えの時に覗いてみるのも面白いかもしれませんよ。



はな組

保育室にパーティションのついている鏡があります。こどもたちはその鏡が大好きで、自分の顔を見てニッコリと笑顔になったり手を伸ばしても「あれ、触れない…」と不思議そうに見たりしています。こどもたちが新しい発見や楽しいことを見つけられるような環境を整え、活動をしたいです。